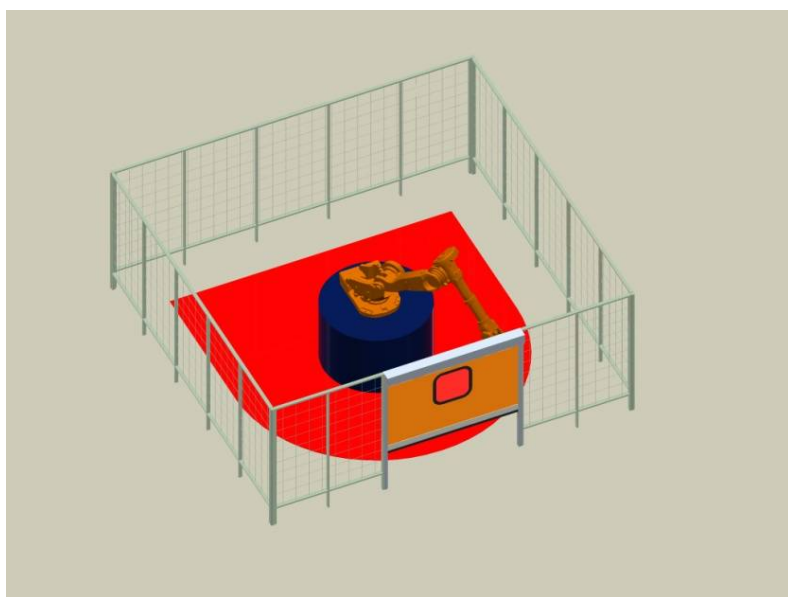


Machine Protection Door RapidProtect™



マシンプロテクションドア
使用時の水平安全距離は
約500mmです



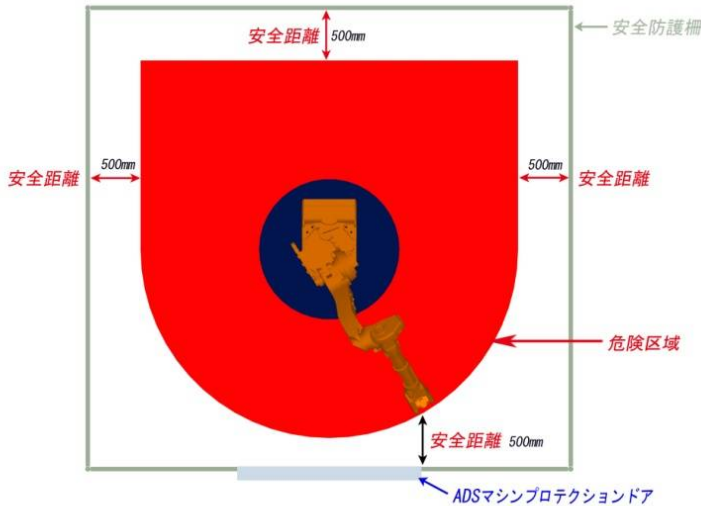
セーフティーライトカーテン
使用時の水平安全距離は
約1400mmです



快適空間の創造

協立工業株式会社
〒104-0041
東京都中央区新富1-15-7
TEL 03-3552-2951
FAX 03-3551-0576
<http://www.kyoritsukogyo.co.jp>
E-mail ads@kyoritsukogyo.co.jp

水平安全距離



マシンプロテクションドア

有効開口高2100mm(ドア高さ約2550mm)の場合、危険区域の高さが2200mm以下なら、危険区域への水平安全距離は0となります。

準拠規格

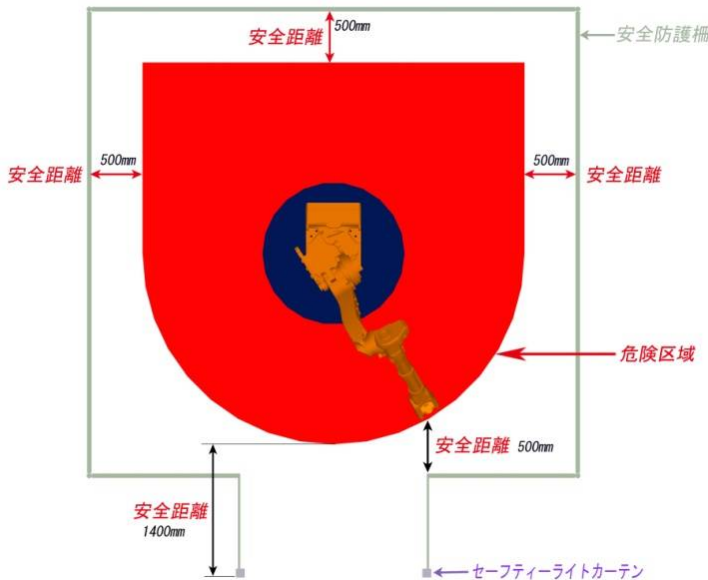
- JIS B9707:2002(危険区域一上肢 安全距離)
- JIS B9708:2002(危険区域一下肢 安全距離)
- JIS B9710:2006(ガードと共同するインターロック)
- JIS B9716:2006(固定・可動式ガードの設計・製作)

マシンプロテクションドアと安全防護柵の位置関係

人体部位の押しつぶしを防ぐために500mmの最小すきまが必要です。
マシンプロテクションドアの柱部は安全防護柵の一部であることから、危険区域とドア柱部の水平安全距離を500mm確保する必要があります。

準拠規格

- JIS B9711:2002(人体部位押しつぶし回避の最小すきま)



セーフティライトカーテン

危険区域への一般的な水平安全距離は、1386mmとなります。

計算式

$$S = (K \times T) + C$$

S: 水平安全距離 (mm)

K: 接近速度 (mm/秒)

T: システムの停止性能 (秒)

C: 保護装置作動前に危険区域に向かって進入する可能性を勘案した追加距離 (mm)
計算例 (JIS付属書による)

$$K=1600, T=0.355, C=850$$

$$S = (1600 \times 0.355) + 850$$

$$= 1386 \text{ (mm)}$$

準拠規格

- JIS B9715:2006(接近速度に基づく設備の位置決め)

飛散防止対策

マシンプロテクションドアは、溶接火花・レーザービーム・加工パーツなどの飛散を防止します。また、ロボットアーム・100Kgを超える重量物からの耐衝撃性にすぐれており、ハンドリングロボットの安全防護対策にも使用できます。